



Weekly Bulletin

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

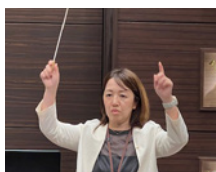
静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／川辺 哲 ●副会長／児玉 俊明 ●幹事／横山 泰久 ●副幹事／川崎 裕司

2024-2025 9月9日 ☀ 第3715回例会

ゲスト卓話「女性活躍～しなやかに生きる～」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
宮部 理香さん

●ゲスト紹介●

NPO法人 Woman'sサポート代表
曽根原 容子 様
グアン・バレンティーナ・クリスト 様
国際ロータリー2620地区 交換留学生

数年前静岡ロータリーでお世話をさせていただいた当時バレンティーヌさん、現在はグアン・バレンティーナ・クリストさんがお見えになっていますので、谷本さんからご紹介いただきます。

<谷本さんより>

こんにちは、8年前の久保田年度の時に、スイスから静岡に来ていただきまして、一年間静岡ロータリークラブでホストを行いました。静岡からは、ふたばから、わたなべみずきさんが、

うちのクラブのメンバーではなかったですが、当時は、ななちゃんと言うことで皆さんに大変お世話になりまして、ホストファミリーご家族を回ったものですから、静岡に1週間いてもお父さんお母さんがいっぱいいるから足りない。とてもいい人です。半年くらい東京に行って、国際交流したとのこと。では、本人から皆様にご挨拶を。

<バレンティナー>

みなさんこんにちは。谷本さんが先程いろいろお話ししたのですが、私は去年からジュネーブで国際関係と発達の大学院で勉強しまして、それで、今は駿河の大学院に留学して交流を続けたいと思っています。あと、私、ジュネーブでも、ジュネーブ国際会議等いろいろお世話になりまして会議等出ていて、今はこう言うバナーをとってきました。よろしくお願いします。

●ビジター紹介●

NPO法人 Woman'sサポート代表
曽根原 容子 様

●会長挨拶●

会長 川辺 哲 さん

先週の例会は、当初、台風10号が上陸して、例会の日に最も静岡に近づく予報だったので、休例会とさせていただきます。事務局から、出来る限り休例会の連絡を致しましたが、行き届かなかった方がおられたようで、当日は3〜4名の方が会場に見えたようで、申し訳ありませんでした。会場の関係や、地元へ戻る方もありそうでしたので、前週の金曜日の夕方には決定して連絡をする必要がありまして、臨時理事会にて休例会と致しましたが、結果論ではありますが、当日は台風も低気圧に変わり晴れ間も見えて例会は可能でしたが、リスクマネジメ

ント上、休例会とせざるを得ませんでしたこと、ご了承ください。というわけで、この2週間の出来事で印象に残っていることをお伝えします。前回の例会日の夜、新会員親睦委員会がありました。入会三年以内の会員を中心に35名ほどの会員が出席されましたが、和気藹々とした、大変楽しい懇親会でした。私の隣に座った、今まで九州の、静岡と同規模の街のロータリークラブに在籍されていた新会員は、静岡ロータリーは、地元の会員と転勤族の会員の間に全く垣根が無く、大変親しく交流しているのを見てビックリしておられました。番匠委員長、御苦勞様でした。当日の昼の例会の会員増強委員会アワーの時に行ったアンケートの中間結果を見せていただきました。皆様、静岡ロータリーの活動に様々な「意義」を見いだしておられることが感じられました。また、いくつかの要望も書かれておりましたが、それらを上手に取り入れることで、当クラブの魅力度を高めて会員増強を進めていくべきだと思いました。山田委員長、宜しく願いいたします。話しは飛びますが、イスラエルと交戦中のガザの子ども達の間でポリオの感染が発生したそうです。感染が広がるのを防ぐために、子ども達にワクチンを配る間、一次的にイスラエルの攻撃をストップさせたとのニュースが入りました。短時間ではあったらしいですが、戦争の当事者に一部の冷静さが残っていることで、今後の収束を期待したいところです。国際ロータリーのポリオ撲滅運動が、あと一步のところまで来ていると聞いておりましたが、再び感染が拡大しないよう、祈るばかりです。もうひとつ。昨日の静岡新聞に地球深部探索船「ちきゅう号」が、清水港から宮城県沖に向けて出港したとのニュースが出ておりました。調査は三ヶ月半、10カ国の研究者や乗組員150人が参加し、震災か

ら13年経った震源の歪みの進行具合を調べるのが目的です。「ちきゅう号」は、昨年の職業奉仕委員会で見学し、大変貴重な経験をさせていただきました。その節は金田委員長に大変お世話になりましたことを、改めて御礼申し上げます。ロータリークラブのメンバーであることで、世界の様々な出来事が他人事ではなくなります。良いことか悪いことかは一概には言えませんが、自分の世界が広がって、広い視野でものを見たり考えたりすることが出来ると思います。感謝あるのみです。この後、9月21日には、当クラブとローターアクトクラブが永年にわたって支援しており、また平尾前会長が評議員をしている静岡大学教育学部附属特別支援学校のPTAの秋祭りが行われます。平尾さん、佐藤ローターアクト委員長、宜しくお願いいたします。本日よかったのは、以前お世話しておりました留学生のクリスティーナさんが、今回こうしてクラブに顔を出していただけることはうれしく、さらなる励みになります。暑さも峠を越し、ようやく過ごしやすくなって、食事もお酒もおいしく頂ける季節になってまいりました。祭日の関係で、この先2週間、例会がありませんが、是非お元気で仕事に取り組んでください。エンジョイ・ロータリーで行きましょう。



●委員会報告●

雑誌員会委員会 布田委員長

ロータリーの友、9月号の読みどころについて紹介させていただきます。まず、表紙のイラストは、はじめの会の田中せいこさんによる金閣

寺のイラストで、とても迫力があります。

横組み 4ページ、会長挨拶

ロータリーのマジックとは、帰属意識であり、それは思いがけない時に生じるものです。というご自身の親戚との繋がり体験をもとに記載いただいています。

横組み 8ページ、ネパールの教育支援

最近の静岡でもネパールの方を多く見かけます。支援の輪が広がるといいと思います。

横組み 14ページ、ロータリーの友をフォローする地区のリーダーの紹介

このような方の力でロータリーの友が支えられているということを今回知りました

横組み 18ページ、2620地区のリーダーの斉藤様より

『友をもっと活用してクラブの活動や新会員の研修、会員増強に役立っていただきたいと思います』のとメッセージが寄せられています

横組み 19ページ、卓話に役立つツール

QRもついていますので、ぜひご覧になってください

私も一通り拝見いたしました。一番印象に残っているのは、横組と縦組がある理由です。

横組は、ロータリーインターナショナル関係の記事、特集等、ロータリーに関する理解を深める記事を中心に取り上げていて、縦組は、読者のエッセイ、俳句などの趣味や知識が広がる講演や卓話の要旨等、会員同士の親睦を深められるような記事を中心に掲載しています

横組み 29ページ、米山小学生での基礎知識、寄付金財政編

税制控除が受けられる等、細かい内容が掲載されています。

横組み 44ページ、世界ポリオデーの紹介

縦組み 4ページ、ベネズエラのエルシステマという音楽を使った教育の取り組みの紹介

国家事業となっているので、成果次第では日本でも取り組んでみる必要があるのかもしれませんが

縦組み9ページ、またぎというキーワード
相模原南ロータリーの中村様の記事で、出身地の秋田県の旧阿仁町を紹介したものです。

今月号のロータリーの友はロータリーの友を支える方々と活用方法についての特集が中心になっています。ぜひ、ご一読ください

●幹 事 報 告●

幹事

この先2週間は、例会はありません。

9月14日(土) 親睦ゴルフコンペ(静岡カントリー島田ゴルフコース)

9月17日(火) 観月会

●お め で と う●

【誕生祝い】

●月●●日 柳田 一男さん

●月●●日 植松 昌美さん

●月●●日 香本 創児さん

●月●●日 松崎 至宏さん

●月●●日 山本 芳司さん

【結婚記念日】

●月●●日 川池 朗さん・恵子さん

●ス マ イ ル●

曾根原 容子さん(ゲスト)

本日は卓話の機会を頂きありがとうございます。よろしく願い致します。

ローターアクト委員長 佐藤 長巳 さん

昨日アクトの日で、甲府石和温泉でゴミ拾いに行ってきました。石道さん、宮部さん、坂上さん、松本さん、極暑の中、お疲れ様でした。昼食のうどん屋にあった言葉を紹介します。「努

力は積み重ねるから崩れる。積み重ねなければ崩れない。人間は立って歩くから転ぶ。横になってれば転ばない。だから明日できることは今日やらない。」以上

幹事 横山 泰久さん・

副幹事 川崎 裕司さん

先々週の例会で予算と決算の承認をいただきありがとうございました。説明の後に皆様から承認をいただくのを忘れ、志田PDGのご指摘で慌てて承認をいただきました。以後、気を付けます。

水上 房吉さん

3年ぶりに両手でゴルフができる様になりました。なれないせいか片手の方がうまくいきます。

杉本 忠重さん

長い間の不良会員、申し訳ありませんでした。「妻の介護を自宅で」と、行っていましたが、予防的介護のを知り、専門家をお願いすることにし、障害認定・介護認定を経て、毎週月曜日にデイサービスに行くこととなりました。よろしく願い申し上げます。

石川 雅章さん

9月9日は「救急の日」。安心安全な社会のために、女性専用の防災グッズをご用意しました。オリジナルパッケージも準備しますのでお気軽にお問合せ下さい。お手元のチラシをご覧ください。

柳田 一男さん

●月●●日に、●●歳の誕生日を迎えました。これからも、感謝の気持ちを忘れず、素直な心を持って快活に、一日一日を過ごして行きたいと思っています！

植松 昌美さん

●月●日お誕生日のお祝いありがとうございます。『ドラえもん』も同じ誕生日ですが、新たに関取の熱海富士の同じとのこと。●●才近く

も違いますが（笑い！）

香本 創児さん

誕生日のお祝いありがとうございます。ちょうど●●になりました。人生折り返し、一日一日を大切に過ごして行きたいと思います。ご指導よろしくお願いいたします。

松崎 至宏さん

誕生祝いを有難うございました。●●才になりました。まづまづ元気で例会に出席できることを感謝しています。

川池 朗さん

結婚記念日のお花ありがとうございます。●●年目となります。单身生活は●●年目です。

満席スマイル

4番 伴野さんテーブル、5番 志田さんテーブル、7番 福地先生テーブル

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
9/9	111名	73名	38名	65.77%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

●ゲスト卓話●

NPO法人 Woman'sサポート代表

曾根原 容子様

演題「女性活躍～しなやかに生きる～」



21歳の時に鍼灸師とマッサージ師の資格を取り、その後、上京。東京の鍼灸師の資格を持つ研修センターで働きながら、資生堂の依頼で、資生堂美容室で2年

間、美容と針ということで、針の担当させていただいていました。これは、資生堂ビューティーサイエンス研究所が新しく、美容と針の融合したものをやりたいとのことで約35年前にその最初をやらせていただき、大変光栄なお仕事でした。その時は1988年頃のバブル全盛期で、場所は銀座8丁目にある、ザ・銀座というビルで、いつも時間が空くと8階から銀座の大通りを歩く人たちをみて、「すごいな」と思い、人生を先行することしか考えられない時代でありました。銀座の土地も1坪100万と言われていた、そんな時代を銀座の街で過ごすことができ、それが本当に今の私に生きているのだなと感じます。この時にすでに、沼津市に戻りましてゆくゆくは沼津に戻って美容と婦人科系の鍼灸治療院をオープンしようと、ザ銀座の8階から決意してことを今でも覚えています。そこから、美容というものを専門的にやってみようと思い、資生堂の仕事が終わった後に、株式会社スリムビューティーハウスに勤めました。ここはもともと、武蔵野鍼灸院という鍼灸治療院がエステティックに変わったので、「これだったら勉強できるかな」と思い、入社しました。入社当時10店舗くらいしかなかった会社ですが、最高約160店舗まで増え、そんな中私も、いちエステティシャンとして入りましたが、成績がとてもよかったため、西日本統括部長というNo.3の立場まであがることができました、この時にいろいろと仕事の基本について勉強させていただきました。1998年は、当時、名古屋駅前本店で、1ヶ月の売上が、1店舗だけで1億円あげることができました。この成績は、後にも先にもエステ業界では、私だけで、当時、株式会社スリムビューティーハウス曾根原というと大手では結構名前が知れ渡っていたと思います。株式会社スリムビューティー

ハウスで学んだことは、女性マネジメントです。女性中心の会社だったため、女性をどのようにマネジメントして、どのような形をとったら女性がやる気をもって仕事ができるのか、力を発揮できるのかということを徹底的に学びました。そして気づいたことは、女性は自分の居場所を作りたいがる生き物だということです。同じところにずっといるとそこから派閥ができってしまうということもそこで学びました。ですから、私が担当した西日本は、3か月、長くても半年の期間で人の入れ替えを行い、中を少しずつ入れ替えることで、派閥ができないようにしてきたという記憶があります。その後、株式会社スリムビューティーハウスを退社して、2002年に、静岡県沼津市にエステティックサロンをオープンしました。鍼灸治療院も横で少しやったのですが、それよりもまずはエステサロンをやって、エステティックサロンの方が売り上げがあがったので経営を軌道にのせるまでは、エステをメインにやっていこうと思い、エステティックサロンをオープンしました。当時、エステティックサロンのイメージが、非常に悪かったのです。消費者センターへのクレームも非常に多かったです。さらに、静岡県というところは、美容・エステティックサロンの数が人口からすると多く、特に東部地区は多かったです。でも、東部地区にはエステの認定校がなかったため、それならばということで、私が沼津市に日本エステティック美容協会認定校を取得して、静岡ビューティーカレッジを開校しました。この時は、スリムビューティーハウスで培った様々な人脈を使わせていただいてオープンすることができ、今は千人以上卒業生がいる状況です。しかし、2002年は、女性が一人で起業をした時に、なんの後ろ盾もなく、銀行も積極的にお金を貸してもらえなかったで

す。当時、金融機関に「曾根原さん、三つ悪いことが重なっているよ。一つは、まず独身。一つは、女。三つめはエステ。だからお金はなかなか貸してあげられない。200万なら貸すことができるよ。」と言われたことは今でも覚えています。今の時代では考えられないことですが、実際そのように言われて、200万だけ借りたのを覚えています。でも、その言葉があったから、逆に言えば、今、22年、23年目を迎えましたが、ここまで頑張っただけなのだなと感じています。そして、起業してしばらくしてから商工会議所に入りました。商工会議所でいろいろな会議等に出ささせていただき思ったことは、「商工会議所は男社会なのだな」と。女性の会員も少なく、男性が中心でやっているというイメージでした。特に沼津は保守的な街ですので、それはすごく感じました。転機となったのは、そんな中でも2013年に沼津商工会議所青年部で初の女性の会長を務めさせていただいたことです。その後、2016年4月に女性活躍推進法が施行され、私は女性活躍推進法のおかげで様々なチャンスを得ることができました。例えば、女性が起業をして成功というか、何十年もやっている方が沼津市にはいなかったのですが、そういう中で、いろんな役をやらせていただきましたし、情報も入ってきましたので、とても商工会議所の育てられたという実感があります。例えば、会社が大変な時も補助金が申請できるようにいろいろ助けていただいたり、私が美容鍼灸の研究をやっていたので論文を書くときに、論文に必要なアンケートを、静岡県全域に女性の年齢別比率で取れるように商工会議所にご協力いただいたり等、様々な形で応援していただいております。この後お話しする「Woman'sサポート」も商工会議所にお手伝いしていただきました。青年部

の活動としては、どんなことがあったかといいますと、まずは、女は43才をさかいにちやほやされなくなるとすごく実感しました。それまではとにかく重たいものを持っていても、「手伝いますよ」と言ってもらえていたが、ある時から、「これはどこに置きますか?」と尋ねると、「そんなの自分で考えてください」といわれて、やっぱりだんだん扱いが変わってくるのだなと実感したのが43歳の時でした。その後、青年部の会長をやることで、私の人生の転機が訪れました。これがなぜかといいますと、会長をやったことにより、いろんな方との出会いがあり、人脈も増えて、そして今、こういう形で今日もこのような場に立たせていただいています。ご紹介いただきました石川さんとは。青年部の県連会長だった時からのお付き合いです。青年部の会長を受ける時に仕事もあるので悩みましたが、断るとこの先10年は、沼津市で女性の会長は出ないなと思い、受けさせていただきました。また、今までは、女性ばかりでの組織でのマネジメントをやってきたが、男性が多い組織において自分の力がどれだけあるのかというのを試してみたいと思い会長を受けました。そこでわかったのが、男性はやっぱり縦社会、女性は横社会で育ってきているのだとすごく実感しました。それはどういうことかといいますと、私の育った時代は、男性は、子供の頃に野球やサッカーを通して先輩と出会い縦社会を学び、女性は、おままごとを通じて共感・隣の人とどうやってうまく付き合うかを学んでいる。明治維新以降、男性が作ってきたのでビジネスや商工会議所は、縦社会です。縦社会の中に、やはり私たち女性は後から入ってきたわけですから、溶け込んでそこを理解してやっていかないと組織というのは難しいのだなと実感し、今でも意識しながら活動しています。そし

て、女性活躍推進法もあり、沼津市からも、商工会議所からも女性経営者として期待されるようになり、「Woman'sサポート」を新設することとなりました。「Woman'sサポート」とは、2016年7月に発足。この頃、女性のプチ起業が流行っていました。沼津市は近隣と比べて、女性の起業の対応がすごく遅かったので、沼津商工会議所の相談に行っても、相談にのってもらえない等、沼津市は女性の起業に対する取り組みに積極的ではないケースがあり、私は、それでは意味がないと思い、沼津市役所の政策企画課と沼津商工会議所に、起業を考えている女性たちが相談しやすい・集まりやすいものを作りたいと提案をしました。そうしましたら、是非それをやっていただきたいと賛成いただき、「Woman'sサポート」を作りました。それまで、青年部会長を務めて積極的に活動してきたが、卒業の年齢となっていて、卒業してしまったらなにもできなくなってしまうという気持ちもあり、「Woman'sサポート」の立ち上げにさらに注力できたのではと今になってそう感じます。NPO法人としての立ち上げとなり、7人のいろんなタイプの女性に声をかけて理事になっていただきました。「Woman'sサポート」というのは、女性の起業就業、子育て・妊活の支援・相談窓口として立ち上げたもので、私は起業ですが、子育て支援をやっている女性、会社の中の幹部・管理職をやっている女性、役員をやっている女性、助産師さん等を集めて、8人で起業をしました。今年で9年目を迎えていて、昨年は、知事褒章をいただき、会としてまた一つ成長できたなと感じています。10年続けていることは2つあります。一つは、女性起業応援セミナーです。主催は沼津市で運営がWoman'sサポートで毎年講師の方に来ていただき、女性の起業を育

てるといことでセミナーをしていただいています。二つ目は、All Lady's フェスというイベントです。コロナ前は10時から16時の間に親子連れなど約1400人の来場者がありました。イベントでは、起業したい女性達は、自分たちのブースを出店し試してみたり、すでに起業している先輩女性達は、ブースを出したり、起業したい方の相談窓口を作ったりと、起業がしやすい環境・試してみられるフェスです。その他、約150人集めたクリスマス会を異業種交流会として開催したり、市内のいろいろなところで相談会を実施したり、産婦人科の先生による妊活セミナーを行なったりしてきました。そんなことで9年が経ち来年10年を迎えますので、10年経ったら世代交代をと考えていますので、どのようにしていこうかを現在思案中です。そして私は沼津北ロータリークラブに2017年に入会させていただきました。今期は62名からスタートして現在68名で、約1ヶ月で6人に入会していただきうれしく思っています。年齢は37才から92才までいます。68人中女性は2人だけです。最近いろいろなところでロータリークラブの女性会員の増員についてお話があります。ここからは私の持論ですが、女性の方も多くいますので誤解しないで聞いていただきたいのですが、女性比率はクラブ全体の10%までは、会員は誰でもいいというものではないので、厳選したほうがいいと思っています。なぜかと申しますと、女性が多ければ素晴らしいクラブということではないと思います。やはりどのような人が会員であるかというのが重要であって、静岡県は女性の経営者の人数というのが全国平均より低いし、管理職の人数も低いです。つまり、特に東部地区では、女性の仕事に対して意識は、東京や大阪などの都会の比べると低い。静岡市はそれで

も、県内でも高いほうだと私は思っています。そういう状態ですので、地域性はあると思います。ですから、他の地域で増強・増強としていても、沼津市などは現在、ビジネスの面で女性を育てている状況なので、土壌も違うので、焦らず女性を育てて、そしていい状態になったところでロータリーに入っていただけたらいいのではないのかと私は思っています。なので、沼津北ロータリークラブは、現状、女性が2名ですが、今もっと女性をいれなければいけないという空気ではなく、誰かいい人がいたらと、仕事も講師もできる方の誰に声をかけようかと探している状況です。私が、なぜ女性比率が1割かと言っているかということ、女性は先を見るのが苦手なのです。ですから、目先のことで損得を判断してしまうので、仕事につながるとつながらないとか、もしくは奉仕とかめんどくさいなと思ってしまうと、会がおかしくなってしまう。1割ぐらいだとそういう考えに段々なってくるのです。ですからそういった意味で1割までは厳選して、その先はいろんな形で広げていっていいのではないかとと思っています。現在、私は、仕事では、「ハリリーナ」という美容鍼灸とエステが現在二店舗ありますので、今後「ハリリーナ」の展開をやっていきたいと思っています。この「ハリリーナ」は、私が最初にお話しした通り、ザ・銀座の8階から誓った美容と鍼灸を癒合した治療院を持ちたいと言ったまさにそういうサロンです。9月から仕事用のインスタグラムをはじめて、店舗展開の人数アップと鍼灸師のリクルートのためにやっています。以上が、私がどのようにやって、ここまでできたのかという話になります。